

# 肥後医育振興会に期待する

## 研究部長（医学部長） 就任の挨拶



熊本大学大学院生命科学研究部長  
熊本大学大学院医学教育部長・医学部長  
富澤 一仁

公益財団法人「肥後医育振興会」の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より医学研究助成や外国人留学生奨学助成、あるいは各種学術集会開催支援など、本学の教育、研究、診療につきましてご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

平成三十一年四月より、研究部長、教育部長ならびに医学部長を拝命いたしました。大変光栄に思うとともに身が引き締まる思いであります。肥後医育振興会には常々お世話になっておりますが、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

肥後医育振興会に大変お世話になったことと思ひ出すのが、熊本地震で被災した外国人留学生に対するご支援を賜った時のこととあります。私が副医学教育部長（大学院教育委員長）を拝命している時に熊本地震が起きました。幸いにも、医学教育部の大学院生には負傷者はいませんでした。ただ、海外からの留学生の中にはアパートが全壊あるいは半壊したため引越しを余儀なくした者、度重なる余震のため心的外傷後ストレス障害で一時熊本から退避した者、あるいは大学院四年生で学位研究のまじめを行っていた時に研究機器が壊れ大学院の修了が遅れた者などがいました。

学部学生に対しては、医学科後援会や熊

な支援をすることができましたが、外国人留学生を支援する経費はありませんでした。そこで、山本哲郎副理事長に連絡いたしました。「肥後医育振興会で留学生の支援をして欲しい」と懇願しましたところ、山本副理事長から「分かった。検討してみる」との返事をいただきました。

その後、山本先生から理事長、理事会や評議員会の皆様に掛け合っていたいただき、のべ三四名の外国人留学生に對しまして、一五三万円余りの支援をしていただきました。予算計画にない支援で大変だったことと存じますが、心温まるご支援を迅速に賜りましたことが心から離れません。支援いただいた留学生も、肥後医育振興会から支援をいただいたことは一生忘れないでしょう。母国に帰って、後輩達に熊本大学への留学を勧めている留学生が多くいるという声も聞こえてきます。

振興会は目的の一つとして「熊本

## 地域医療の充実をめざして



玉名郡市医師会 会長  
浦田 誓夫

財団法人肥後医育振興会におかれましては、平成八年の熊本大学医学部創設一〇〇周年を記念して熊本大学医学部同窓会並びに後援会により設立され、本年で二十三周年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

我が国の医学における肥後の先進性の伝統を継承され、医学教育や研究の助成を始め、住民の健康向上のために多面的な活動を展開されて今回に至っておりますことに心から敬意を表します。また各種のご案内を郡市医師会にまで頂き細やかなお目配りに感謝いたします。

私は昨年の前会長の平山晴章先生の急逝によりまして、十月より玉名郡市医師会の会長を務めております。前会長の逝去の折には、熊本大学医学部他関係の方々より丁寧なるお慰めを頂き、紙面をお借りしまして改めて厚く御礼申し上げます。

目下、玉名地域では、当地域のさらなる医療の向上を目的に、平成二十五年以来全国初の試みとして玉名市と玉東町からなる公立玉名中央病院と医師会立玉名地域保健医療センターの経営統合について病院関係者、行政並びに当医師会との間で協議が開かれ、住民の要望を受けながら平成三十年四月に経営統合が成立し、令和三年初頭に地域独立行政法人として当医師会も経営に参加して、一つの新病院が開院する運びとなりました。新病院は主に急性期からなる四〇二床の規模で、ヘリポートを有する災害拠点病院また地域医療支援病院として県北最大規模となります。また平成二十七年以来、公立玉名中央病院において熊本県

地域医療支援機構の下で熊本大学病院の地域医療学外教育拠点として地域医療実践教育玉名拠点が設立され、熊本大学医学部の学生、研修医、専攻医の教育・実習が行われており、当医師会も全面的に協力しております。

現在、我が国は世界でも未曾有の少子高齢化、人口減少に向かつており、また経済も逼迫しつつあり、より高い費用対効果が求められています。また医学医療の進歩は速度を速めており、さらに病気の診断と治療のみではなく患者さんの全体的なケア、健康を高めていくことが求められています。その要望に応えるためには、各地域における医療構想並びに保健介護や福祉との調和のとれた地域包括ケア体制の整備が必要と思われまふ。当医師会におきましては、たまな在宅ネットを設立して当医療圏内外の医師が参加して在宅医療の連携を図り、また医師会立の訪問看護ステーションも県内でも有数の規模で活動を続けております。

また昭和四十七年に設立しました重度心身障害者施設たまな荘は我が国では初めての医師会立の施設であり、医師会員が全面的に協力して小児から高齢者のさまざまな福祉のニーズに応え、また行政とも協力して種々の公益事業も展開しております。

今後も熊本大学医学部を始めとして関係者の方々のご指導・ご鞭撻を仰ぎながらオール玉名で玉名地域の医療を含めた住民のケアの充実をめざし、また熊本大学医学部の教育研究に少しでも手助けになればと願っております。

最後になりましたが、肥後医育振興会の益々の御発展を祈念してやみません。